



岡山県中小企業団体中央会・岡山中金会 新年祝賀懇親会 28年1月13日



第14回全日本ホテルズ・レストラン共進会・北海道大会報告会 大会に係る報告会 27年12月16日



第61回青少年読書感想文岡山県コンクール表彰式 27年12月17日



事務局職員へ新年挨拶 28年1月4日



平成27年度 岡山・鳥取文化交流事業「鳥取藩池田家32万石」開会式 28年1月21日



第34回岡山県幼小中高PTA連合会連絡協議会研修大会 28年1月22日



日本離島センター設立50周年記念祝賀会 28年2月17日



難病対策岡山県議会議員連盟 設立総会 28年3月9日 事務局長に就任しました

佐藤真治 プロフィール

総務、農林水産、産業労働警察、文教、行革委員会の各委員長、監査委員を歴任。

昭和39年(1964年7月25日)生まれ 干支は辰。獅子座。A型。岡山大学教育学部附属中学校(第32期生)・岡山一宮高等学校(第1期生)・早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。会社員などを経て、平成5年より、逢沢一郎代議士秘書。平成11年4月岡山県議会議員選挙初当選。平成15年再選。平成19年3選。平成23年4選。平成27年5選。

次世代に誇れる児島湖・湾を考える議員懇談会事務局長・保護司・岡山県洋裁技能協会会長・岡山県自転車競技連盟会長・岡山県バイコロジをすすめる会会長・岡山県相撲連盟副会長・岡山県弓道連盟顧問・財団法人桃太郎少年合唱団理事・社会福祉法人南野育成園理事・落書き調査隊副隊長 など

好きな歌手 馬場俊英

地域の安全・安心のために

継続しています落書き消去活動



真夏の落書き一斉消去活動です!



岡山県青年協議会、ちよこっとボランティア、岡山ライオンズクラブ、さら支部と一緒に。

初平成11年 初当選 忘るるべからず!!



5期

2015年度 県政報告 第4号

愛と夢の公正な 分かちあいのために



県議会副議長

www.satoshin.jp/

さとうしんじ



ご挨拶

我が国では、人類史上経験したことの無い少子高齢化が進む中、「2040年までに896の自治体が消滅する」と予測した日本創生会議の発表以来、安倍政権のもと、地方活性化に向けた「地方創生」について議論が行われています。もちろん、国をあげて持続可能な社会保障制度を確立し、有効な少子化対策を行うことは急務です。

しかし、地方自治体の財政問題を人口減少問題に置き換えてしまう前に、地方自治体の経営を見直す必要がありますし、より現場に近い地方が、自ら新たな活力を生み出すという知恵を絞らなくてはなりません。岡山が、生き残るためだけでなく、勝ち上がるためにも、今ほど、地方議会の役割が重要な時代はないと思います。

こうした状況の中で、県議会副議長という役職を預からせて頂いている責任を痛感いたしております。我が身をなげうって、邁進する覚悟です。

岡山県議会副議長

佐藤真治

FAXホットライン 応援ファックスもよろしく!

県政に対する「提言」「疑問」をどしどし送って下さい!!

Call Me! 呼んで下さい! 「ミニ集会」

少人数でも結構です。場所は問いません。堅苦しいものでなく、身の回りのことから、いろんな話をしてみませんか?

ほぼ毎日 街宣中です。



安倍晋三総理総裁と



伊原木知事と



2015統一地方選挙 私の公約

- ①子育て世代として、子ども達の未来と先輩方の安心を守ります。
- ②児島湖・湾流域の防災対策を進めます。
- ③豊かな山と海を回復し、安定した水供給を図り、農林水産業を支援します。
- ④六次産業化、金融支援、販路拡大を進め、中小企業を応援します。
- ⑤私自身が、がん患者として、病や障がい当事者やご家族の皆様と乗り越えていける社会を創ります。
- ⑥五期を目指す県政の中核議員として、さらなる行政改革、議会改革を進めます。



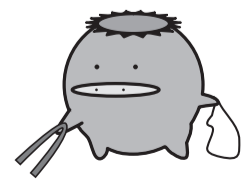
さとうしんじ事務所

〒700-0944 岡山市南区泉田417-1

TEL 086-250-3818

FAX 086-250-3828

E-mail: satoshin@optic.or.jp



県政報告



(施設課長) ◎来年度、2箇所を調査を考えている。適地があれば、経済性を踏まえて事業化を検討していきたいと考えている。

(佐藤) 女性の育児休業取得率が上がらないのは、非正規雇用の問題など根が深い。育休が取りやすい会社を増やすことや若い世代の正社員比率を上げていくことが重要である。

小さな拠点については、国土交通省の図にイメージが引っ張られすぎている。岡山県型のパターンを図で示した方がよい。

NPOへの委託は、随意契約にしないで公募や入札での契約にしてほしい。何に使われているのか、お金の使い方をクリアしてほしい。

使用料及び手数料の改定(案)について

(佐藤) ①岡山空港第一駐車場の有料化は、元々、歳入確保対策の中で出てきた話であった。今回、駐車場の料金の上限を倍にすることで、満車状態が改善されるとする根拠は何か。



②無料駐車場があるのに、わざわざ料金を払って第一駐車場に車を止めるような人は、少しくらい値上げしても気にしないのではないかとも思う。料金の値上げが収入に与える影響と、値上げ分はハード整備などに使われるのか伺いたい。

(航空企画推進課長) ①岡山市街地の駐車場料金や利用者アンケートを根拠に上限額を決めた。

②値上げにより1時間未満の無料利用者が増えるが、長期を中心に有料利用者が減少するため、トータルとしては1割前後の収入減となる見込みである。現在のところ、ハード面の増設は考えていない。

(佐藤) 今回の値上げは岡山空港駐車場に特有のもので、他の県有施設の駐車場には影響しないとの理解でよいか。

(航空企画推進課長) 岡山空港特有の事情である。

(佐藤) 駐車場の長時間利用者はありがたい存在であり、そのような方にもっと利用してもらえよう、将来的にハード面の整備を検討してもらいたい。



第4次岡山県人権政策推進指針(答申)について

(佐藤) ①例えば、子どもの貧困の問題にも触れてはいるが、それを止めようという気持ちがこの指針からは伝わってこない。この指針を作成する目的は何か。

②38ページでは「拉致問題、人身取引、アイヌの人々等」の各課題を羅列しているが、拉致問題などは、他の問題と一括して書くべきではないと考えるが、どうか。

(人権施策推進課長) ①本指針は、県が進める人権施策の大きな方向性を示すもの。子どもの貧困等具体的な問題に対しては、担当課の個々の計画において対応することとなる。

②拉致問題等を羅列しているからといって、小さく扱っているというわけではない。

(佐藤) 具体的なことは各課の計画によるということだが、その元となる指針がしっかりしていないと、各課の計画にもその思いが伝わらない。また、拉致問題等は羅列せず、一つ一つの課題を分けて書くようにしてほしい。

〈総務委員会(平成28年2月15日)〉より

平成28年2月定例会主要事項について・予算案件

(佐藤) 当初予算要求からの追加・拡充について、私学助成の拡充などは歓迎する。

(佐藤) ①拠点化の対象になるような集落のさらに奥の集落は、公民館なども維持できなくなり消滅してしまうので、交通ネットワークで結んでいくということだと思うが、生き生き拠点形成支援事業を増額するのは、どんな考え方によるのか。



(中山間・地域振興課長) ①拠点での生活機能の維持・確保を図るため、施設整備、買い物などの総合的生活支援、交通ネットワーク再編の補助金について増額している。

(佐藤) ②国際定期路線について、米子-香港線が岡山と同じ香港航空で開設されると聞いた。インバウンドにおいては、中四国との連携が必要であるが、そうした経費も予算に盛り込んでいるのか。

(航空企画推進課長) ②米子線についても開設される予定と聞いており、鳥取県とも情報交換している。香港をターゲットに中国5県の観光部門で連携して取り組むこととされており、今後とも、観光部門と連携して、対応してまいります。

(人事課長) 「営利企業等」には、商業、工業又は金融業など営利を目的とする私企業と、公益法人やNPO法人等の非営利法人も含まれる。

(佐藤) 県との関係で一定の制約を設けることは必要だが、県の管理職経験者が、これまでの経験や知識、人脈などを活かし、再就職先で業務に当たることは大切だ。難しいかもしれないが、運用上、県と連携がとれる仕組みを考えてほしい。

地方創生加速化交付金申請予定事業について

(佐藤) 地方創生加速化交付金の事業費は約7億8千万円が予算計上されているが、満額が計上されているのか、それとも見込額なのか。

(政策推進課長) 申請予定事業に要する経費に相当する額を予算計上しており、見込額である。

(佐藤) ①前回の交付金申請では、本県の採択状況は残念な結果となった。これからさらに人口減少が進み、地方消滅への危機感が高まる中で、地方創生の交付金は、地方が自立する仕組みを作るものだとも認識している。こうした中で、交付金申請事業への思いはどうか。

②日本創生のための将来世代応援知事同盟の事務局は、来年度は本県に置くのか。

(総合政策局長) ①地方創生の取組が全国的に注目される中、国が有利な交付金を創設したことは大変ありがたいが、我々の立場からすれば、様々な条件が付き過ぎているようにも感じる。一方で、国の示している自立性などの考え方は理解でき、それぞれの事業を一過性のもので終わらせるのではなく、定着させることが重要だ。

申請事業には来年度当初予算として要求していた事業からピックアップした新規事業や既存事業などを挙げており、できるだけ分厚い施策となるよう、各部局と連携して進めていきたい。また、申請の際は本県の思いを国へしっかり伝え、より多くの交付金が確保できるよう努めていきたい。

(政策推進課長) ②来年度は本県が幹事長県となり、政策推進課が事務局を務める。



(佐藤) 限られた予算の中で、国が地方からの申請事業を採択するため、先駆性などの条件を付けるのは必要なことである。国は、最終的に地方に自立することを求めている、地方同士の知恵の出し合いだ。交付金を満額取ることが望ましいが、本県も自立する覚悟を持って取り組んでいかなければならない。

12県の知事同盟も、本県がしっかりリーダーシップを取って進めてほしい。



〈総務委員会(平成28年2月19日)〉より

平成27年度2月補正予算協議額(通常分)について



(佐藤) ①補正の内容として、予算執行段階における減額や、当初の見込みとの差による減額があるが、これらは例年どおりの動きなのか。

(財政課長) ①実績見込みによる減額は主に義務的経費で、予算執行段階における減額は主に事業関係の経費で発生しているが、金額の規模は概ね例年どおりである。

②2月補正では、通常、減額になる場合が多いが、今回は増額になっている。財源はどのように手当てするのか。

(財政課長) ②歳出が増額となった主な要因のうち、森公社への繰出については、財源の大部分に基金を活用するため、一般財源にほとんど影響はない。また、地方消費税清算金及び市町村交付金については、歳入における清算金収入や税収の増と連動したものである。

③平成28年度当初予算で収支不足が生じている。執行段階で取り戻せるとの説明ではあるが、今後も森公社への繰出や退職手当基金への積立が必要な状況において、平成28年度は赤字予算でのスタートで大丈夫なのか。

(財政課長) ③今回の収支改善40億円については、退職手当基金へ積み立てることとしている。例年、2月補正時に40億円程度の収支改善が生じており、当初予算段階における収支不足は概ね賅えると考えているが、その用途については毎年度、状況を注視しながら検討したい。

④防災ヘリは、リスク分散のため、岡南飛行場からわざわざ岡山空港へ移転することになった。入札不調で工期末が先に延びたそうだが、リスク管理という観点では由々しき問題だ。どんな事態が発生し、どういう状態になったのか。

(消防保安課長) ④移転工事のうち舗装工事について、昨年9月に入札を行ったが、参加者がなく不調に終わったため、昨年11月に再入札を行った。これに伴い、工事にある程度の期間を要することとなったため繰り越すものである。なお、移転の時期については、国の許可のための検査を受けることもあり、元々今年9月の予定としており、日程を調整し、予定どおりの供用開始を目指している。

(佐藤) 当初予算の収支不足について、40億円程度は毎年、収支改善が生じるから大丈夫だそうだが、収支改善は当初予算の編成段階から見込むものではなく、これをあてに予算を組むべきではない。

第4次おかやまウイズプラン(案)について

(佐藤) ①LGBTについても配慮すべきと思うが、具体的な記述はあるか。

②LGBTの担当課はどこか。また、県内の現状を把握しているのか。

(男女共同参画青少年課長) ①本文15ページに、性的指向や性同一性障害について記載しており、具体的な施策については、16ページに人権問題の啓発の一部として記載している。

(人権施策推進課長) ②LGBTの広報・啓発については人権施策推進課が担当している。県内の状況は、新聞報道などで確認する程度で、数値は把握していない。全国で言えば、民間の調査で、人口の約7%という結果も出ている。

(佐藤) 学校教育などにおいて、きめ細かな対応を進めてほしい。

※LGBT - 性的少数者を限定的に指す言葉。レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(心と体の性の不一致)の頭文字をとった総称であり、他の性的少数者は含まない。

公債費について

(佐藤) 県予算の中で公債費が大きなウエイトを占めているが、県債はどこからどの程度借り入れており、その償還にいくらかかっているのか。

(財政課長) 借入先は様々で、公的資金としては財政融資資金、あるいは地方公共団体金融機構からの借入れがあり、また民間資金としては中国銀行など各金融機関からの借入れがある。

公債費は平成26年度決算で約1,005億円で、そのうち元金が約855億円、利子が約150億円である。

(佐藤) 利子償還費が150億円にも上り、多額の償還経費がかかっているという認識を強く持つ必要がある。一方、マイナス金利の導入により、いまや借り手が有利な状況だが、例えば交渉などにより、借入金利が下がるようなことがあるのか。

(財政課長) 金利が下がる余地はあると考えている。県債の借入先の決定に当たっては、一部に入札制度を設けており、市場金利の動向や各金融機関の努力が入札金利に反映される仕組みになっている。

(佐藤) 県の起債や公債費の状況について、どこからどの程度借りているのか、また金利をどれくらい支払っているかなどは、県民が知っておくべき情報だ。特に、予算編成において公債費を縮減する努力をしているのであれば、その内容も含めて、もっと分かりやすく説明してほしい。



サポートのお願い!!

政治活動を経済的に支える「岡山未来政治研究会」を設立しています。この会は、皆様からの信託を受けた議員として、純粋に自由な立場で地域の将来を考えられるよう、大勢の力で、さとうしんじの活動を支えようとするものです。

時代の要請に応えられる政治活動を進める中では、政策の研究、会報の発行、事務局の設置、皆様との交流の機会を持つことなど、最低限の費用はかかってきます。これからも積極的に活動を続け、“未来の子ども達へ夢をつなげる政治”を実現させるためにも、「岡山未来政治研究会」の趣旨にご賛同いただき、ご参加・ご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

会費	年間1口1,200円(月100円)
〈郵便振替口座	岡山未来政治研究会〉
口座番号	01370-8-57261
〈銀行口座	岡山未来政治研究会〉
	中国銀行 本店営業部
	普通預金口座
口座番号	NO.2672088